



CORPORATE REPORT 2022

2022年12月期
第2四半期決算報告

2022年1月1日



2022年6月30日

GMO INTERNET GROUP

証券コード：9449

グループ経営を加速し、 100年継続する企業へ

代表取締役会長兼社長 グループ代表

熊谷 正寿



岩盤ストック収益が拡大し、最高業績を更新

当第2四半期の連結業績は、インターネットインフラ事業およびインターネット金融事業が引き続き好調に推移し、インターネット広告・メディア事業もV字回復トレンドへ回帰したことに加え、インキュベーション事業における投資有価証券の一部売却が寄与した結果、売上高および全ての利益段階において前年同期を大きく上回り、最高業績を更新しました。

岩盤ストック収益の中心であるインターネットインフラ事業は、決済やセキュリティの伸びが牽引し、のれん償却や戦略投資をこなしつつ、利益拡大フェーズとなっています。インターネット金融事業は、特にCFDが取引高・収益を順調に伸ばした他、外貨ex byGMO株式会社の連結効果も表れました。インターネット広告・メディア事業は、コロナリオープンの影響や自社メディアが好調に推移したことから広告収益が拡大しました。会計基準の変更に伴う売上高の減少がありましたが、実質的に増収・増益を遂げています。暗号資産事業は、ボラティリティの低下を受け、売買代金が大幅に減少し、低調に推移しました。

なお当社は、2022年9月1日付で「GMOインターネットグループ株式会社」に商号を変更しました。新社名のもとグループ経営を一段と加速し、100年単位で継続する企業グループを実現していく私たちの進化に大いにご期待ください。

連結業績ダイジェスト (2022年4月1日▶2022年6月30日)

▼第2四半期決算のポイント

当第2四半期	
売上高	営業利益
 69,490 百万円	 19,812 百万円
(前年同期比 17.3%増)	(前年同期比 95.4%増)

▼セグメント別の概況 (単位百万円、カッコ内は前年同四半期比増減率)

インターネットインフラ事業

売上高 36,666 (5.8%増)	営業利益 5,586 (13.2%増)
---------------------------	----------------------------

当四半期のポイント

- 契約1,283万件の岩盤収益基盤を維持、決済中心に売上続伸
- ストック収益の増加で利益率が向上し、営業利益は2桁成長

インターネット広告・メディア事業

売上高 8,512 (33.2%減)	営業利益 547 (27.6%増)
---------------------------	--------------------------

当四半期のポイント

- 経済再開で広告代理が好調、自社メディアも広告収益が拡大
- 会計基準変更で売上高が66億円減少、実質的には増収増益

インターネット金融事業

売上高 10,363 (49.9%増)	営業利益 2,975 (39.8%増)
----------------------------	----------------------------

当四半期のポイント

- 外貨ex byGMOの連結化で店頭FX口座数・取引高が大幅増加
- CFDが好調、タイ王国の証券事業も堅調に推移し、増収増益

暗号資産事業

売上高 1,294 (77.4%減)	営業利益 △397 (－)
---------------------------	----------------------

当四半期のポイント

- マイニングは施設稼働率の低下と資産価格の下落で業績悪化
- 暗号資産交換も売買代金が大幅減少し、減収・営業損失計上

クローズアップサマリー

▼インターネットインフラ事業

日本最強のホワイトハッカー集団

2022年1月に子会社化したGMOサイバーセキュリティ by イエラエは、国内最大規模のホワイトハッカー組織を擁し、WebアプリケーションやiOS/Androidアプリの脆弱性診断、コンサルティングなどを行うサイバーセキュリティ専門会社です。当社グループは、同社とのシナジーを活かしたサイバーセキュリティ施策として、ホワイトハッカーによる脆弱性診断を通じた「グループサービス防衛強化」を優先度の高いサイトから順次進めるとともに、全パートナー（従業員）を対象とする「グループ内ホワイトハッカー教育」を実施しています。プロダクト面・販売面では、金融機関のお客様のサイバー攻撃対策・リスク低減ニーズに応える「GMOサイバーセキュリティ for 銀行」の提供を4月から開始しました。脆弱性診断の自動化による「SaaSプロダクトの開発」にも着手しています。

日本最強のホワイトハッカー集団として、インターネットの安全・安心をより強固なものにしてまいります。

GMO CYBER SECURITY IERAE

Webアプリ脆弱性診断
 3,526件

プラットフォーム診断
 1,207件

スマホアプリ脆弱性診断
 1,308件

ペネストレーションテスト
 136件

シナジー

- ➡ グループサービス防衛強化
- ➡ グループ内ホワイトハッカー教育
- ➡ GMOサイバーセキュリティ for 銀行
- ➡ SaaSプロダクトの開発

GMOサイバーセキュリティ by イエラエの詳細については、こちらからご確認ください。

<https://gmo-cybersecurity.com/>



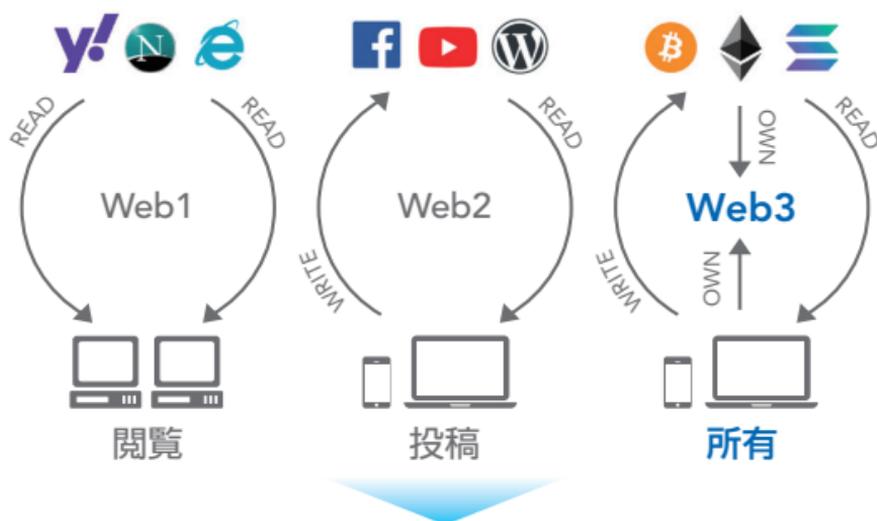
Web3領域への取り組み

インターネットの世界は、閲覧サービスが中心だった黎明期の「Web1」、SNSなどを通じて誰もが情報を発信できるようになった「Web2」を経て、ブロックチェーンやトークンがユーザーの資産所有を可能にした「Web3」の時代を迎え、この領域におけるビジネスの立ち上げが世界的な潮流となっています。

当社グループは、Web2までの既存領域で岩盤ストック収益を築き上げる一方、いち早くWeb3領域への取り組みを開始し、2015年より多くのノウハウを蓄積してきました。現在、暗号資産交換・マイニングやステーブルコイン、NFT関連ビジネス、ブロックチェーンの脆弱性診断、メタバースなど、Web3領域における事業展開に必要なパーツを幅広く揃えています。

Web3とは

ブロックチェーンや暗号資産を用いたサービスの総称。
世界的な潮流に



GMO Web3

【法人設立】

今後の国内Web3市場の発展を見据え、その活性化に貢献すべく、Web3ベンチャー支援に特化したハンズオン型コーポレートベンチャーキャピタルとして、GMO Web3株式会社を2022年7月に設立しました。グループ内のWeb3ベンチャー支援機能を同社に集約し、ブロックチェーンや金融テクノロジー、サイバーセキュリティなどに関する技術・ノウハウの提供と、資金調達面のサポートを行います。同社は、こうした多角的かつ強力な支援の実施に向けて、当社グループに所属するWeb3関連事業領域のプロフェッショナルと、同領域およびベンチャー企業経営に深い知見を持つ外部有識者を役員・顧問に選任し、高度な専門性を備えた経営体制を構築しました。

株主様向けインフォメーション

1 四半期配当

▼期初方針に基づき28.0円の配当

(単位：円)	1Q	2Q	3Q	4Q	配当総額
2022年	19.6	28.0	—	—	47.6
2021年	17.1	12.2	10.8	12.6	52.7

2 株主優待

6、12月末日において1単元以上所有の株主様に対し、株主優待関連書類を郵送にて送付しています(郵送の目安:6月末→9月下旬/12月末→3月中旬)。下記1~4の内容すべてを併用いただくと12,100円相当と大変お得な内容になっております。

- 1~4すべて利用可能
- 1.GMOコインにおけるビットコイン付与2,100円分
 - 2.GMOクリック証券における当社株式買付手数料CB
 - 3.GMOクリック証券での売戻手数料CB
 - 4.GMOインターネットグループがご提供する各種サービスのご利用料

「株主優待のご案内」もご覧ください。

詳細につきましては同封の「株主優待のご案内」に記載の内容をご覧ください。ご利用方法やお得なサービス等をご紹介します。

※ログインには「株主番号」「郵便番号」が必要となります。株主番号につきましては同封の「配当金計算書」をご参照ください。または、三井住友信託銀行株式会社(下記連絡先ご参照)でもご案内しております。



※株主優待の申請手続きやより詳しい情報につきましては専用ホームページをご確認ください。▶ <https://yutai.gmo.jp/>

3 お問い合わせ先

●株主優待はこちら(GMOインターネットグループ株式会社 株主優待事務局)

専用ホームページ <https://yutai.gmo.jp/>

お問い合わせ先 03-6633-4355

(受付時間:土日祝祭日及び会社休業日を除く平日10:00~18:00)

●株式事務手続きはこちら(三井住友信託銀行株式会社 証券代行部)

0120-782-031 (フリーダイヤル)

(受付時間:土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)